

感染管理認定看護師

＜感染管理認定看護師(ICN)の活動＞

- 病院長より命を受け組織横断的に活動を実施しています。感染対策チームに参加し、チームで感染予防・拡大防止活動を行っています。
- 感染対策チームは、感染制御ドクター(ICD)、検査技師、薬剤師、用度管理課、事務員、感染担当看護師で構成されています。
- 感染管理認定看護師(ICN)は、年間活動方針を立案し、感染対策の基準/手順書(マニュアル)を作成し、指導教育、最新情報の提供、コンサルテーション等の役割を担っています。そして、患者さんを感染から守るため、リンクナースやリンクドクターの協力を得て全職員2の指導教育を行っています。

現場に即した感染対策でありたい、と力を注ぎ、
私たちはこんな事をやっています。

- インフルエンザやノロウイルス予防教育
- 耐性菌拡大防止のための見回り
(手指衛生向上・清潔な環境整備)



ICNメンバー: 吉田光子(院内感染対策室)・小林倫子(院内感染対策室)

<活動の実際>

1. サーベイランス活動の分析・評価及び結果の提供

医療器具関連サーベイランス(中心ライン関連血流感染、カテーテル関連尿路感染、人工呼吸器関連肺炎)、手術部位感染、病原体サーベイランス、感染症データの活用の仕方、手指衛生遵守率測定

2. コンサルテーション

感染対策での疑問等に適切な方法で問題解決へ向けての相談・調整を行う

3. 感染防止技術の教育・啓発活動

スタンダードプリコーション及び感染経路別予防策(接触感染・飛沫感染・空気感染)咳エチケット、ルート類の取り扱い、オムツ交換、吸引手技、環境整備、清掃の仕方、洗浄・消毒・滅菌について

4. 患者退院指導

主に病棟看護師を教育し、担当看護師から患者指導を行えるよう教育している。

5. 職業感染予防

針刺し・血液曝露サーベイランスと教育・予防ワクチン推進

6. 委託業者への感染対策教育

清掃の仕方、手指衛生

